

第5回景観法施行実績調査(平成22年7月1日時点)

(景観地区に関する項目)

問1 景観地区の概要について

(1) 景観地区の内容

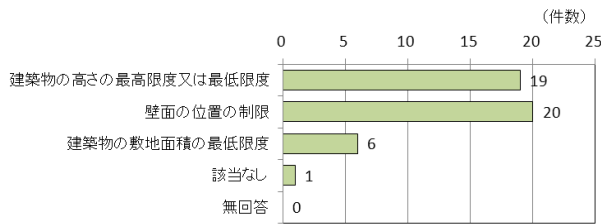
1) 名称、面積、決定日

景観地区の名称・面積・決定日

景観地区名	面積(ha)	決定日
北海道ニセコ町	1,206	H21.5.18
北海道倶知安町	2,298	H20.3.7
岩手県平泉町	774	H21.4.1
東京都江戸川区	19	H18.12.2
神奈川県鎌倉市	225	H20.3.1
神奈川県鎌倉市	7	H20.3.1
神奈川県藤沢市	約38.4	H19.4.1
神奈川県藤沢市	約24.7	H19.4.1
岐阜県各務原市	5	H20.4.1
岐阜県各務原市	48	H19.3.31
静岡県沼津市	1	昭和28.4.7 (美観地区)
静岡県熱海市	13	H19.12.28
三重 伊勢市	6.7	H21.10.1
京都府京都市	約138	H19.9.1
京都府京都市	約303	H19.9.1
京都府京都市	約92	H19.9.1
京都府京都市	約1,143	H19.9.1
京都府京都市	約543	H19.9.1
京都府京都市	約135	H19.9.1
京都府京都市	約 27	H19.9.1
京都府京都市	約250	H19.9.1
兵庫県芦屋市	約1,857	H21.7.1
和歌山県高野町	78	H21.3.9
島根県松江市	約3.9	H19.4.1
岡山県倉敷市	21	H17.6.1
広島県尾道市	200	H19.4.1
大分県大分市	34	H20.7.1
沖縄県石垣市	68	H19.1.7
沖縄県石垣市	1,850	H22.3.12
計	29地区 18団体	

2) 景観地区における制限の内容として、選択事項のうち定めている事項(複数選択可)

景観地区の選択事項



(2) 景観地区工作物制限条例の内容

1) 名称、制定年月日

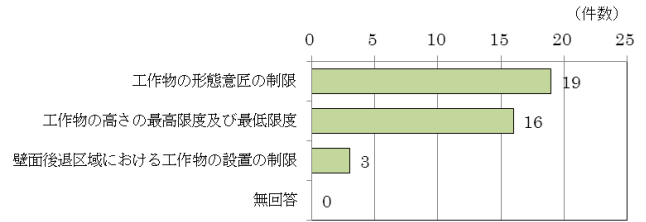
景観地区工作物制限条例の名称・制定日

北海道ニセコ町	ニセコ町景観地区条例(平成21年6月)
岩手県平泉町	平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例(平成21年4月)
神奈川県藤沢市	藤沢市都市景観条例(平成19年12月)
三重県伊勢市	伊勢市景観条例(平成21年3月)
京都府京都市	京都市市街地景観整備条例(昭和47年4月(平成19年3月改正))
兵庫県芦屋市	芦屋市都市景観条例(平成21年3月)
和歌山県高野町	高野町景観条例(平成20年12月)
島根県松江市	松江市景観条例(平成19年3月)
岡山県倉敷市	倉敷市美観地区景観条例(平成17年6月)
広島県尾道市	尾道市景観条例(平成18年9月)
沖縄県石垣市	石垣市景観地区条例(平成20年3月)
計	11条例(延べ19条例・19地区)

注:京都市は 8 景観地区とも「京都市市街地景観整備条例」、藤沢市は 2 景観地区とも「藤沢市都市景観条例」

2) 制限内容

景観地区工作物制限条例による制限内容



(3) 景観地区開発行為等制限条例の内容

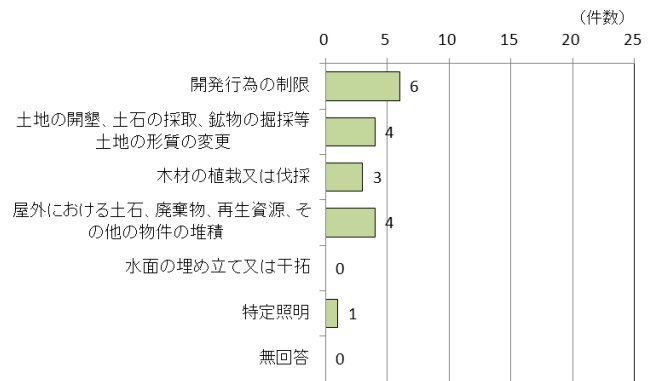
1) 名称、制定年月日

景観地区開発行為等制限条例の名称・制定日

北海道ニセコ町	ニセコ町景観地区条例(H21.6.26)
岩手県平泉町	平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例(H21.4.1)
神奈川県藤沢市	藤沢市都市景観条例(H19.12.26)
三重県伊勢市	伊勢市景観条例(平成21年3月)
和歌山県 高野町	高野町景観条例(H20.12.18)
沖縄県石垣市	石垣市景観地区条例(H20.3.24)
計	6条例

2) 制限内容

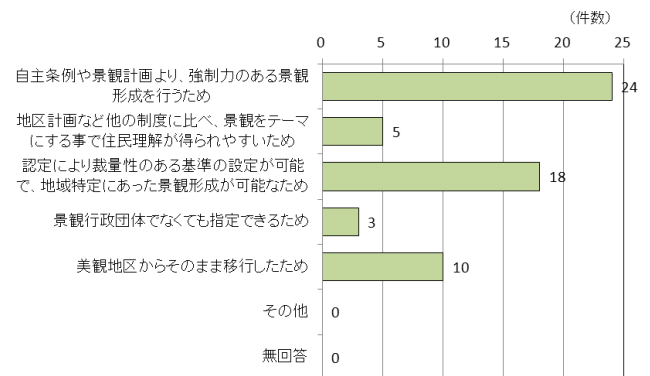
景観地区開発行為等制限条例による制限内容



問2 景観地区の指定経緯について

(1) 当該地域において景観地区が最適の制度と判断した理由(複数選択可)

景観地区が最適と判断された経緯



(2) 他制度との併用状況

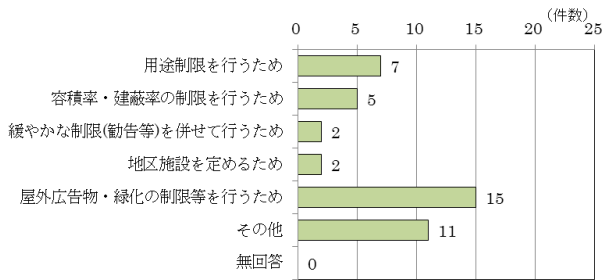
1) 併用している制度の名称

景観地区と併用している他制度の名称

	景観地区名	併用している制度の名称
・北海道ニセコ町	ニセコアンヌプリ・モイワ山麓地区景観地区	特定用途制限地域
・北海道倶知安町	ヒラフ高原景観地区	特定用途制限地域
・東京都江戸川区	一之江境川親水公園沿線景観地区	地区計画
・神奈川県鎌倉市	鎌倉景観地区	鎌倉市都市景観条例
・神奈川県藤沢市	江の島地区	地区計画
	湘南c-X(シークロス)地区	地区計画・屋外広告物条例
・岐阜県各務原市	グリーンランド柄山景観地区	景観形成委員会
	テクノプラザ景観地区	景観協定
・静岡県熱海市	熱海市東海岸町景観地区	特別用途地区、屋外広告物条例
・三重県伊勢市	内宮おはらい町地区	高度地区(甲種)
・京都府京都市	山ろく型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	山並み背景型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	岸辺型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	旧市街地型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	歴史遺産型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	沿道型美観地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	市街地型美観形成地区	京都市屋外広告物等に関する条例
	沿道型美観形成地区	京都市屋外広告物等に関する条例
・岡山県倉敷市	倉敷市美観地区	伝統的建造物群保存地区(文化財保護法による)
・広島県尾道市	尾道市景観地区	尾道市屋外広告物条例
・大分県大分市	大分城址公園周辺地区	地区計画
・沖縄県石垣市	観音堂地区	地区計画
	22地区	1

2) 併用している理由(複数選択可)

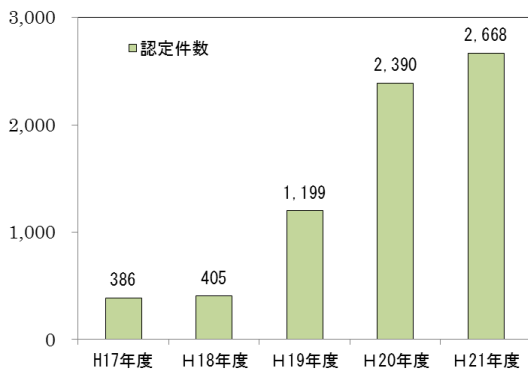
他制度を併用している理由



問3 認定等の運用状況

(1) 認定件数

認定件数

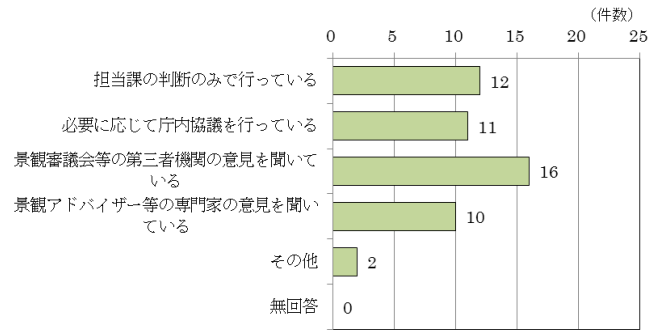


特例認定を行った件数: 2件(H21年度)

不認定件数: 1件(H21年度)

(2) 認定等の際して、行っている取組み(複数選択可)

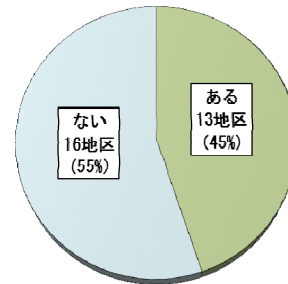
認定等に関する取組み



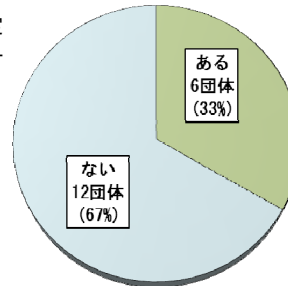
(3) 基準を満たさない可能性があるかと判断した案件の有無

基準を満たさない可能性があるかと判断した案件の有無

※景観地区数で集計した場合



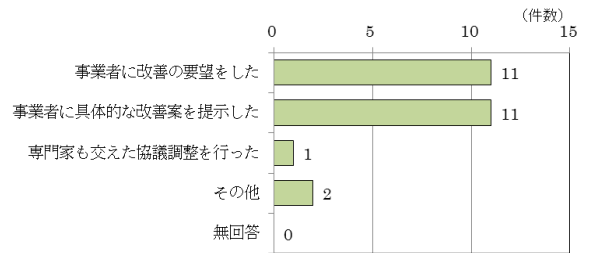
※景観地区指定団体数で集計した場合



(4) 対象: (3)で「基準を満たさない可能性があるかと判断した案件がある」と答えた市町村

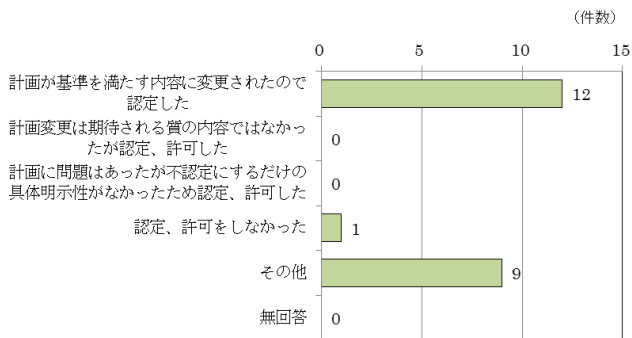
1) その後の取組み(複数選択可)

基準を満たさない案件への対応後の取組み



2) 最終的に取り組んだ結果(複数選択可)

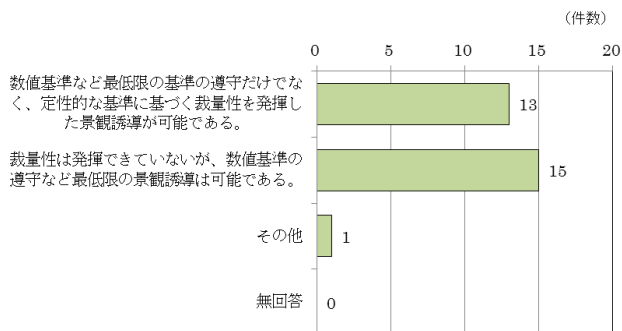
取組みの結果



問4 認定制度の効力と運用課題について

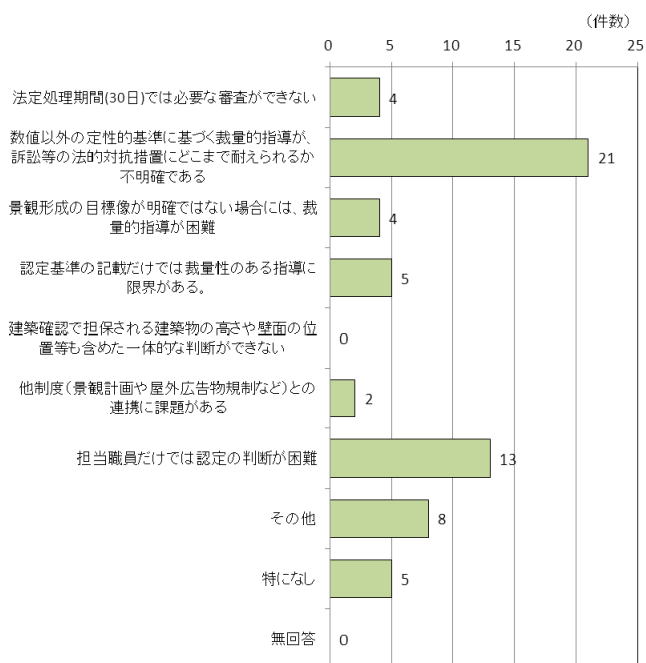
(1) 認定制度の効力

認定制度の効力



(2) 認定制度の運用上の課題(複数選択可)

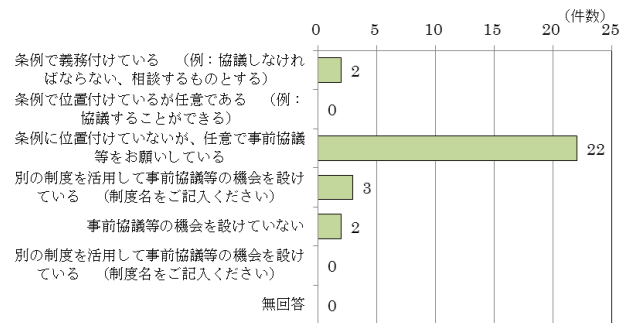
認定制度の効力



問5 事前協議や事前相談(以下、事前協議等)の状況

(1) 認定申請に際して、事前協議等の機会の有無

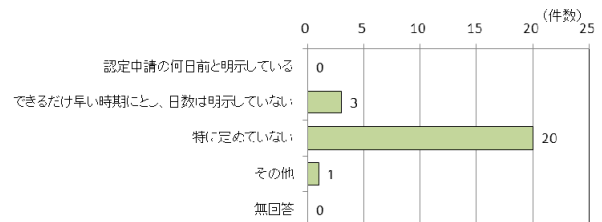
事前協議等の実施状況



(2) 対象:(1)で事前協議等を「条例で義務付けている」、「条例で位置付けているが任意である」、「条例に位置付けていないが、任意で事前協議等をお願いしている」と答えた景観行政団体

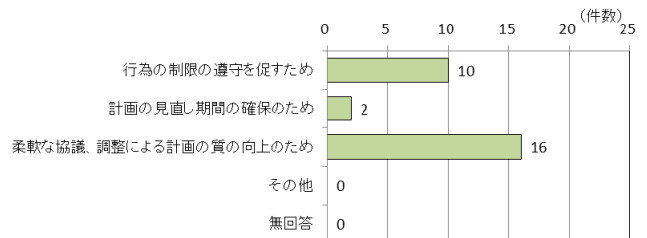
1) 事前協議等の実施時期の明示

事前協議等の実施時期



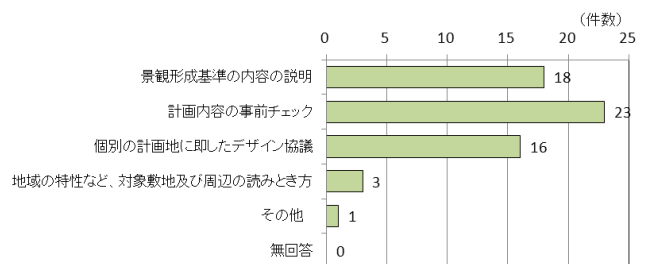
2) 事前協議等を実施する主な目的

事前協議等の実施目的



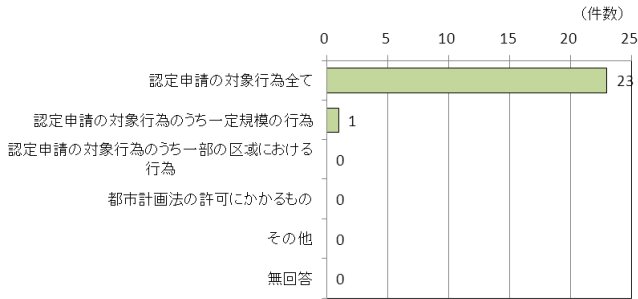
3) 事前協議等で行う内容(複数選択可)

事前協議等の内容



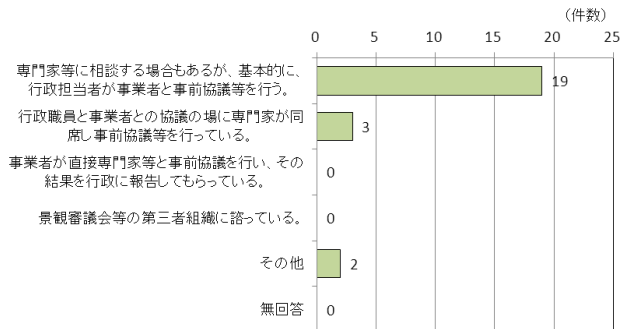
4) 事前協議等の対象となる行為 (複数選択可)

事前協議等の対象



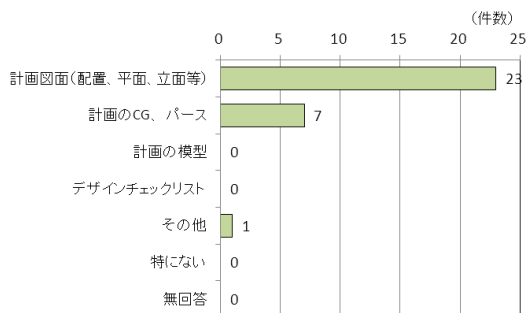
5) 事前協議等の主体及び方法 (複数選択可)

事前協議等の主体・方法



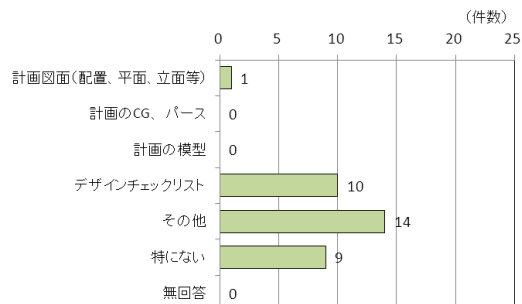
6) 事前協議等の際に事業者へ求めているツール (複数選択可)

事前協議等で事業者へ求めているツール



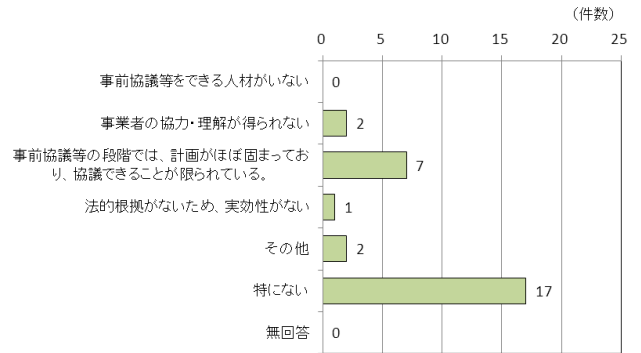
7) 事前協議等の際に行政側で準備しているツール (複数選択可)

事前協議等で行政側が準備しているツール



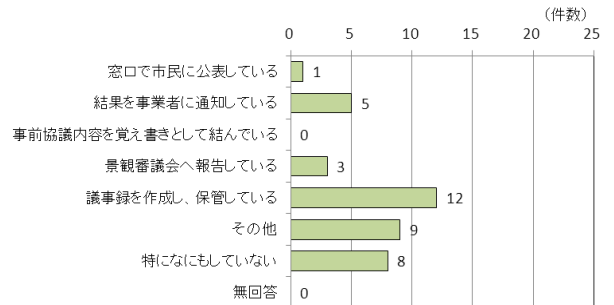
8) 事前協議等を実施にあたっての課題 (複数選択可)

事前協議等の課題



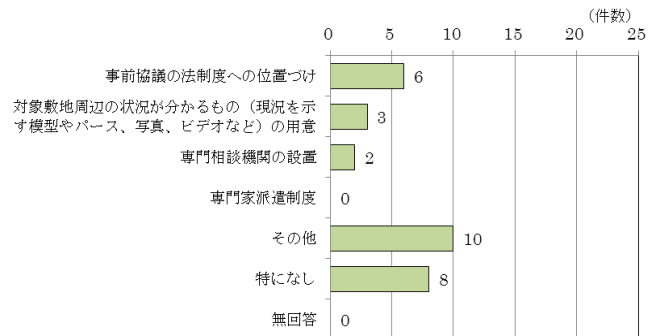
9) 事前協議結果の取扱い (複数選択可)

事前協議等の結果の取扱



10) 事前協議を効果的に行うために必要と思うこと (複数選択可)

事前協議等を効果的に行うために必要なこと

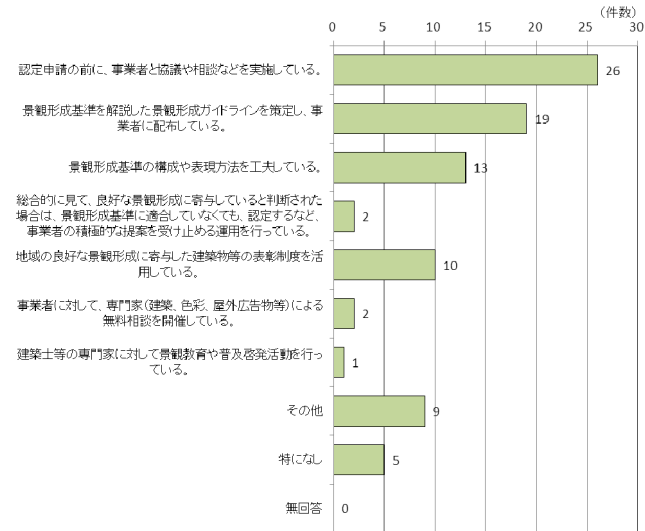


問6 景観地区における魅力的な都市空間創出に向けた景観誘導の取組について

※ここでいう『景観誘導』とは、景観地区での形態意匠の認定等による規制だけでなく、自主条例に基づく事前協議や任意の事前相談等も含んだ、景観地区の区域で取り組まれている景観に関する規制・誘導方策全般の事を指します。

(1) 魅力的な都市空間の創出を進めるために対象区域で行っている取組

景観誘導のための取組

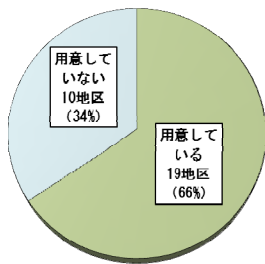


(2) 外部の専門家等の関与について

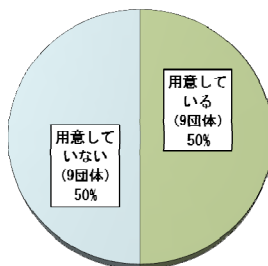
1) 景観誘導において、専門家等(専門家等によって構成される組織を含む)が関与できる制度の有無

外部専門家が関与できる制度の有無

※景観地区数で集計した場合



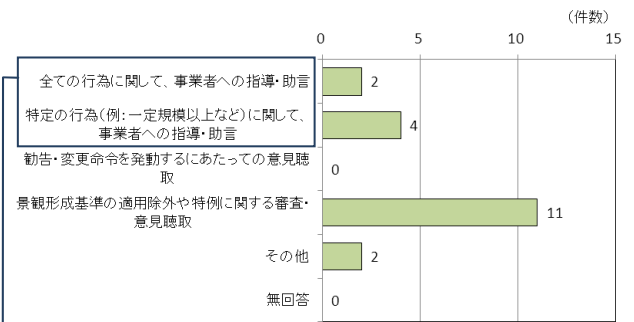
※景観地区指定団体数で集計した場合



2) 具体的に、専門家等が関与しているケース

対象: 1)で『有』と答えた景観行政団体

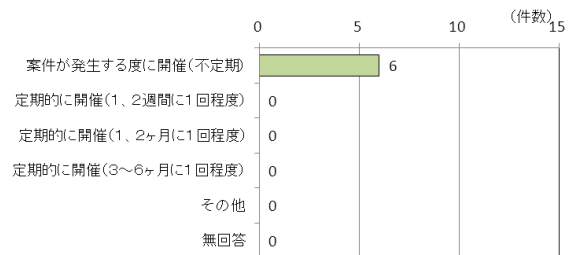
専門家等が関与するケース



3) 対象: 2)で「全ての行為に関して、事業者への指導・助言」「特定の行為に関して事業者への指導・助言」と答えた景観行政団体

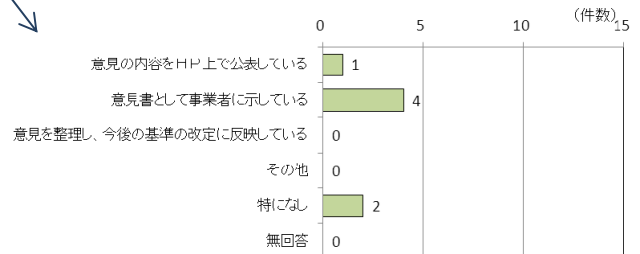
① 専門家等が関与する頻度

専門家等が関与する頻度



② 専門家等による意見や協議の結果の活用方法

専門家等による意見や協議結果の活用方法



(3) 景観誘導を進める上で、問題点や課題として認識していること(複数選択可)

景観誘導における課題

